

極上の音楽体験

SUPERB



極上のアーティストたちによる

心をふるわす音楽ライブ

おとなも子どもも

皆様是非ご一緒に…!

辻コースケ × 細海魚
ホソミサカナ

辻コースケ
パーカッション



WONDERING
TRAVEL TOUR

MUSIC

2022

11/12 土

16:00 開演 15:30 開場 (18:30 終演予定)

会場
白鷹町文化交流センターあゆーむ

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町鮎貝7331

入場料

一般 4,500円 (当日5,000円)
高校生以下 1,500円 (当日2,000円)
未就学児 無料

ご予約



チケット取り扱い

・白鷹町文化交流センター
TEL.0238-85-9071
・音楽アズム館長井店
TEL.0238-84-3111

マスクの着用をお願いいたします。
新型コロナウイルス対策のため入場を制限する場合がございます。
ご予約の際には全員のお名前と連絡先をお預かりいたします。
やむを得ず中止する場合がございます。何卒ご了承ください。

主催 SUPERB MUSIC LIVE 実行委員会
共催 コーヒーと旅と本

お問合せ yoshikawa.yoyaku@gmail.com

LIVE

辻コースケ / Kosuke Tsuji

1973年生まれ。1984年ドラムを始める。1995年アフリカ〜ケニアに渡りパーカッションと出会う。4度のケニア修行を経てパーカッショニストとして活動を本格化する。2004年よりソロパーカッショニストとして活動を開始。2003年から現在までレーベルbasis recordsより8枚のリーダー作をリリース。2010年ゴンザレス三上(GONTITI)とのDuo「Smoked Salmon Railway Machine」を結成し『SEIZA』リリース。

現在はソロ活動の他、GOMA&The Jungle Rhythm Section、CaSSETTE CON-LOS、Orquesta Nudge! Nudge!、POINTER BROTHERS [村上PONTA秀一&中村キタロー&森俊之&辻コースケ&内田直之]のメンバーとしても活動中。

自身の活動と並行して、Anyango、DJ井上薫、うじきつよし、ermhoi、オオヤユスケ、勝井祐二、Caravan、GONTITI、佐藤タイジ、JEFF MILLS、曾我部恵一、伊達弦、照井利幸、堂珍嘉邦、TOSHI-LOW、仲井戸"CHABO"麗市、沼澤尚、東田トモヒロ、福原みほ、細海魚、山口洋、RABIRABI、Leyona、渡辺俊美、など様々なジャンルの音楽家と共演。

音楽家との制作だけに止まらず、内藤忠行(写真家)、ATSUSHI(ダンサー)などとアート作品とのセッションにも力を入れ、多岐に渡り活躍している。

また、これまで20年以上に渡りワークショップ活動を行っている。「パーカッションはリズムを出す楽器。リズムの源は心臓の鼓動にあり、リズム感のない人はおらず、誰でもパーカッションの才能がある。」この考えを軸とし、老若男女/初心者/経験者問わずジャンベを使ったワークショップ活動を継続中。

近年は、全国各地のLiveやフェス、幼稚園や小中高など各学校・養護学校や病院などの会場でのワークショップや、セラピーとしてのワークショップなど精力的に活動している。

細海魚 / Sakana Hosomi

北海道中標津町生れ。蘭(Maju)、neina、hosomi、Livingstone Daisyなどの名義でも活動。豪EXTREMEより蘭(Maju)名義で5枚、独Mille Plateauxよりneina名義で2枚のリリースがある。

2013年11月、細海魚名義では初となるソロアルバム「とこしえ」を新居昭乃プロデュースによるピュアハートレーベルより発表。2020年、6年ぶりとなるソロアルバム「LOST」と「MORI AND GINGA」2タイトル同時発表。

有機的な繊細さに満ちたそのサウンドは内外問わずファンも多く、とくに国内のアーティストやミュージシャンからは唯一無二の音楽観によって絶大な信頼を得ており、新居昭乃、照井利幸、ミナクマリ、矢野顕子等のサウンドプロデューサー、エレファント・カシマシ、おおはた雄一、奈良美智、仲井戸麗市、増田セバスチャン、山口一郎、ヤマジカズヒデ、芳垣安洋 等とのコラボレーション、坂本龍一主宰のKizunaworldへの参加など、キーボーディスト・アレンジャー・プロデューサーとして多彩な活動を続けている。

鈴木広志 / Hiroshi Suzuki

サクソフォン奏者/作曲家。クラシック、ジャズ、ポップス、現代音楽の分野で活躍する。狩野永徳作の国宝 上杉本洛中洛外図 屏風とのコラボレーションをはじめ、迫力のアドリブと遊び心溢れるおもちゃ的演奏を駆使して様々な企画で西へ東へ。朝ドラ「あまちゃん」大河ドラマ「いだてん」(音楽 大友良英)では、テーマ曲/劇中音楽を演奏。清水靖晃、大橋トリオ、椎名林檎、林正樹、ゴンチチ、大友良英、小野リサ、柴田聡子らと国内外のフェスティバルや録音で共演を重ねる。アニメ/映画「五等分の花嫁」映画「35歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」NHK「きょうの健康」テーマ曲、日テレ「家庭教師のトラコ」などを演奏している。東京藝術大学卒業。

田中庸介 / Yosuke Tanaka

ブルースやジャズをバックグラウンドにタンゴなどの南米音楽を融合させ、日本人の感性で演奏と作曲を行うギタリスト/作曲家。ガットギターを軸に独自の音楽を追求する。ロングランを記録した映画「ミセス・ノイズィ(2020)」の音楽を担当。J-WAVE FM81.3「GOOD NEIGHBORS」のジングル音楽を制作(2022)。NHKプレミアム「日本縦断こころ旅(2017〜)」、日テレ「家庭教師のトラコ(2022)」(共に音楽は平井真美子)などで演奏。アーティストのライブや録音、舞台などでの演奏の他に、佐藤鈴木田中、Tango-Jack、Nyabo Sseboなどのバンドやユニットでも活動する。

小林武文 / Takefumi Kobayashi

ドラムセットの他、和洋様々な打楽器類を演奏。自身のグループ 琴鼓'n管の他、林正樹リーダーの間を奏でる、小川美潮フタウタフ、大友良英スペシャルビッグバンド、sardine head、ludus tonalis等のユニットで活動中。NHK Eテレ「大!天才てれびくん」での「パタピテ ポタツピテ」他、TV・映画音楽の作編曲も行う。2013年NHK朝ドラ「あまちゃん」劇伴「あまちゃんスペシャルビッグバンド」に参加、第64回紅白歌合戦に出場。近年は各地の小学校、ホール、美術館等で打楽器を使用した様々なワークショップにも取り組んでいる。2018年1stソロCDアルバム「memimimamon」発表。

千石史子 / Fumiko Sengoku

仙台市出身。宮城県第三女子高校(現・三桜高校)を経て宮城学院女子大学音楽科声楽専攻卒業。声楽家としてソロの他にも声楽アンサンブルや合唱も得意としている。ジャンルを問わず様々な芸術家と共演を重ね活動の幅を広げている。仙台フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団と共演。丸の内夏音楽祭、ラ・フォル・ジュルネTOKYOなどの音楽祭へ出演。アメリカ・ニューヨークとプリンストンにて室内楽コンサートに出演。東京混声合唱団の中国ツアー(上海/北京)に参加。日本シベリウス協会会員。ヘンデル・フェスティバル・ジャパン・キャノンズコンサート室内合唱団、Sound Particlesメンバー。遠野少女合唱隊ヴォイストレーナー。



白鷹町文化交流センターAYU:M [お問合せ] 0238-85-9071

- アクセス
- [車] 山形市より国道348号線で約35分
 - [電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車 (赤湯駅から約50分) 徒歩約4分